



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月7日

上場会社名 株式会社 キング  
コード番号 8118 URL <https://www.king-group.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03-5434-7282  
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月7日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,548	1.5	993	△7.5	1,060	△6.1	533	△29.4
2023年3月期	8,422	4.6	1,073	59.6	1,129	55.5	755	79.0

(注) 包括利益 2024年3月期 1,270百万円 (40.0%) 2023年3月期 907百万円 (117.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	33.02	—	2.5	4.2	11.6
2023年3月期	45.34	—	3.6	4.6	12.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	25,604	21,905	85.6	1,371.88
2023年3月期	24,608	21,084	85.7	1,299.90

(参考) 自己資本 2024年3月期 21,905百万円 2023年3月期 21,084百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	997	△416	△449	10,800
2023年3月期	1,542	△404	△946	10,669

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00	275	37.5	1.4
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	287	54.5	1.3
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		36.8	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	1.8	1,120	12.8	1,180	11.2	780	46.3	48.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	24,771,561株	2023年3月期	24,771,561株
2024年3月期	8,804,268株	2023年3月期	8,551,368株
2024年3月期	16,151,370株	2023年3月期	16,667,185株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調が見られる一方、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格の高騰、円安基調の長期化による物価上昇の影響等により、個人消費は停滞しており、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、外出機会の増加によって人流が回復し、市場環境の改善が見られましたものの、コロナ禍以前の消費水準には届かず、生活防衛意識の高まりから衣料品に対する節約志向が継続しており、引き続き、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、新ブランドの展開や収益性を重視した諸施策の実施、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に注力してまいりました。加えて、店頭運営力の更なる向上を図ると共に、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化にも努めてまいりました。

その結果、売上高は85億48百万円（前期比1.5%増加）、営業利益は9億93百万円（前期比7.5%減少）、経常利益は10億60百万円（前期比6.1%減少）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は5億33百万円（前期比29.4%減少）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### (アパレル事業)

「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、新ブランドの展開や収益性を重視した諸施策の実施、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は68億19百万円（前期比0.0%増加）となりましたが、新規事業の業績が想定以上に苦戦を強いられたこともあり、営業利益は1億99百万円（前期比48.9%減少）となりました。

#### (テキスタイル事業)

自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材を育成しつつ、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発強化および諸経費の削減に取り組むと共に、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースに企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は7億62百万円（前期比5.2%増加）、営業利益は58百万円（前期比10.8%増加）となりました。

#### (エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は9億67百万円（前期比10.1%増加）、営業利益は7億43百万円（前期比16.5%増加）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、129億75百万円（前期末は129億55百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、20百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加と商品の減少によるものであります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、126億28百万円（前期末は116億53百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、9億75百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加によるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、20億54百万円（前期末は20億37百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、16百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少と長期借入金の返済が1年以内になったため流動負債への振替による増加であります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、16億45百万円（前期末は14億86百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、1億59百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加と長期借入金の流動負債への振替による増加であります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、219億5百万円（前期末は210億84百万円）となり、前連結会計年度末に比べ、8億20百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加と自己株式の減少によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ、1億30百万円増加し、当連結会計年度末の残高は108億円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、9億97百万円増加（前期は15億42百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、4億16百万円減少（前期は4億4百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、4億49百万円減少（前期は9億46百万円減少）となりました。これは主に、自己株式の取得と配当金の支払による支出によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期 (第73期)	2021年3月期 (第74期)	2022年3月期 (第75期)	2023年3月期 (第76期)	2024年3月期 (第77期)
自己資本比率	86.9	87.6	86.9	85.7	85.6
時価ベースの自己資本比率	39.9	44.0	39.0	33.3	44.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	31.0	63.2	51.9	31.1	48.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	347.6	201.5	303.0	490.0	292.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

①各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

②株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

③キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復傾向の継続が期待されますものの、依然として個人消費は弱含みであり、世界経済動向の不確実さと相俟って物価の高騰等を背景とした消費マインドの低迷といった景気下振れ懸念も多く、当面は不透明感が強いなかで厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力しつつ、「売上高の拡大」を最重要課題として、パートナーショップの新規開発を推進すると共に、既存ショップの売上拡大に向けた諸施策の実施、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に努めてまいります。加えて、店頭運営力の更なる向上を図ると共に、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化に努め、科学（構造式）と感性（創造力）を進化させた「創造と変革」の融合によって継続的、安定的に質の高い事業構造を目指すべく、全力を傾注する所存であります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重点課題として認識しており、利益配分につきましては、安定的かつ業績に見合った配当の継続に努めると共に、内部留保の充実にも努めることを基本方針としております。

安定配当の指標といたしましては、1株当たりの年間基本配当を5円とし、また、業績に見合った配当性向につきましては、連結当期純利益の概ね40%を一つの指標といたします。

内部留保につきましては、高効率の企業体質を上げるためのブランド開発、店舗開発等の事業投資を優先しつつ、株主還元としての自己株式取得も含め、中長期的な視点で投資効率の高い活用を検討してまいります。

なお、当期の期末配当金は、上記方針に基づき、1株につき1円増配の普通配当18円とさせていただきます。

また、次期の年間配当金につきましては、18円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,669	10,800
受取手形及び売掛金	824	820
電子記録債権	—	5
商品	1,299	1,178
原材料及び貯蔵品	26	33
その他	139	142
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	12,955	12,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,361	2,271
土地	6,480	6,480
その他(純額)	221	219
有形固定資産合計	9,064	8,971
無形固定資産		
	195	174
投資その他の資産		
投資有価証券	1,632	2,746
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	18	7
差入保証金	525	513
その他	229	230
貸倒引当金	△13	△16
投資その他の資産合計	2,393	3,482
固定資産合計	11,653	12,628
資産合計	24,608	25,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	594	511
有償支給に係る負債	64	41
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	—	100
未払金	200	303
未払法人税等	334	263
未払消費税等	90	99
賞与引当金	175	161
役員賞与引当金	20	18
その他	178	175
流動負債合計	2,037	2,054
固定負債		
長期借入金	100	—
繰延税金負債	58	398
長期未払金	166	166
退職給付に係る負債	159	109
資産除去債務	128	127
長期預り保証金	873	842
固定負債合計	1,486	1,645
負債合計	3,523	3,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	13,212	13,469
自己株式	△3,204	△3,378
株主資本合計	20,481	20,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	593	1,295
退職給付に係る調整累計額	9	45
その他の包括利益累計額合計	603	1,340
純資産合計	21,084	21,905
負債純資産合計	24,608	25,604

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,422	8,548
売上原価	3,718	3,661
売上総利益	4,703	4,887
販売費及び一般管理費	3,629	3,893
営業利益	1,073	993
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	40	52
仕入割引	10	8
貸倒引当金戻入額	1	1
雑収入	7	8
営業外収益合計	63	74
営業外費用		
支払利息	3	3
自己株式取得費用	1	0
雑損失	3	3
営業外費用合計	7	6
経常利益	1,129	1,060
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	11	11
減損損失	—	64
事業撤退損	—	37
特別損失合計	11	113
税金等調整前当期純利益	1,119	947
法人税、住民税及び事業税	386	388
法人税等調整額	△23	25
法人税等合計	363	413
当期純利益	755	533
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	755	533
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	701
退職給付に係る調整額	2	35
その他の包括利益合計	151	737
包括利益	907	1,270
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	907	1,270
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,346	8,127	12,615	△2,466	20,622
当期変動額					
剰余金の配当			△158		△158
親会社株主に帰属する当期純利益			755		755
自己株式の取得				△737	△737
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	596	△737	△141
当期末残高	2,346	8,127	13,212	△3,204	20,481

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	444	7	451	21,073
当期変動額				
剰余金の配当				△158
親会社株主に帰属する当期純利益				755
自己株式の取得				△737
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	149	2	151	151
当期変動額合計	149	2	151	10
当期末残高	593	9	603	21,084

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,346	8,127	13,212	△3,204	20,481
当期変動額					
剰余金の配当			△275		△275
親会社株主に帰属する当期純利益			533		533
自己株式の取得				△174	△174
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	257	△174	83
当期末残高	2,346	8,127	13,469	△3,378	20,564

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	593	9	603	21,084
当期変動額				
剰余金の配当				△275
親会社株主に帰属する当期純利益				533
自己株式の取得				△174
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	701	35	737	737
当期変動額合計	701	35	737	820
当期末残高	1,295	45	1,340	21,905

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,119	947
減価償却費	403	414
その他の償却額	4	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	△13
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	1
受取利息及び受取配当金	△43	△55
支払利息	3	3
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	11	11
減損損失	—	64
その他の特別損益(△は益)	—	37
売上債権の増減額(△は増加)	1	△3
棚卸資産の増減額(△は増加)	81	114
仕入債務の増減額(△は減少)	△65	△83
その他	191	△39
小計	1,721	1,402
利息及び配当金の受取額	43	55
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△219	△457
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,542	997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△348	△238
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△68	△71
投資有価証券の取得による支出	△12	△101
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	0
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	0	2
差入保証金の差入による支出	△34	△31
差入保証金の回収による収入	58	29
その他	△2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404	△416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△50	—
自己株式の取得による支出	△737	△174
配当金の支払額	△158	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△946	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191	130
現金及び現金同等物の期首残高	10,478	10,669
現金及び現金同等物の期末残高	10,669	10,800

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内において衣料品等繊維品事業、不動産賃貸事業を行っております。

したがって、当社は、事業の種類別セグメントとして「アパレル事業」と「テキスタイル事業」及び「エステート事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アパレル事業」は、アパレル・ファッショングッズの企画・仕入・販売、「テキスタイル事業」は、テキスタイルの企画・仕入・販売を行っております。「エステート事業」は自社所有不動産の有効活用として、主にオフィスビルの賃貸等を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

また、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

なお、資産及び負債については、事業セグメントに配分しておりません。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アパレル 事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,818	724	878	8,422	—	8,422
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13	15	—	29	△29	—
計	6,832	740	878	8,451	△29	8,422
セグメント利益	389	53	638	1,081	△7	1,073
その他の項目						
減価償却費	298	0	103	401	—	401

(注) 1 セグメント利益の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 資産及び負債については、事業セグメントに配分していないため、記載しておりません。

4 資産については事業セグメントに配分しておりませんが、減価償却費については関係する事業セグメントの負担割合等を考慮して配分しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アパレル 事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,819	762	967	8,548	—	8,548
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16	14	—	30	△30	—
計	6,835	777	967	8,579	△30	8,548
セグメント利益	199	58	743	1,001	△8	993
その他の項目						
減価償却費	303	0	108	413	—	413
減損損失	64	—	—	64	—	64

(注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 資産及び負債については、事業セグメントに配分していないため、記載しておりません。
- 4 資産については事業セグメントに配分しておりませんが、減価償却費については関係する事業セグメントの負担割合等を考慮して配分しております。

## 【関連情報】

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外の有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益及び包括利益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	アパレル事業	テキスタイル事業	エステート事業		
減損損失	64	—	—	—	64

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,299.90円	1,371.88円
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (百万円)	21,084	21,905
普通株式に係る純資産額(百万円)	21,084	21,905
普通株式の発行済株式数(千株)	24,771	24,771
普通株式の自己株式数(千株)	8,551	8,804
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(千株)	16,220	15,967

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	45.34円	33.02円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	755	533
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	755	533
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,667	16,151

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

1. 代表者の変動

該当事項はありません。

2. その他の役員の変動 (2024年6月27日付予定)

退任予定取締役

取締役 石井 修二